

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回犬山警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	<p>令和5年12月7日（木） 午後2時から午後3時30分までの間</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>犬山警察署 4階 講堂</p>
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;"> 稲垣 圭次 会長 佐藤 登 副会長 佐藤 美有紀 委員 水野 佐江子 委員 梅村 淳 委員 谷 繁祐樹 委員 </p> <p style="text-align: right;">以上6名（定員8名）</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;"> 粕谷署長 伊藤副署長 稲山警務課長 礪崎会計課長 伊藤地域課長 内藤生活安全課長 早川交通課長 加納警備課長 尾崎刑事課長 以上9名 </p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>3 有識者等 なし</p>
諮 問 事 項 等	自転車盗を抑止するための方策
答 申 等 の 概 要	<p>1 自転車の施錠を意識づける啓発活動の実施</p> <p>2 犯行を思い止まらせる啓発活動の実施</p>
そ の 他	次回開催 令和6年2月上旬

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申事項に対する施策の取組状況
	(1) 諮問事項
	パトネットあいちの活用方策
	(2) 答申事項
	ア パトネットあいちの認知度を高める取組の推進の実施
	イ 登録者数を増やすための工夫を凝らした働きかけの実施
	ウ 発信内容が単調にならないようにするとともに、発信のタイミング等
	住民にとって効果的な情報の発信の実施
	(3) 推進施策
	ア 答申事項アについて
	(ア) 管内自治体に依頼し、広報誌にパトネットあいちの説明と登録する
	ための二次元コードを掲載した。
	(イ)パトネットあいち登録の周知のため、ケーブルテレビに取材を申し込
	み、当署員がパトネットあいちを広報する様子が11月4日から11月10
	日の間放送された。
	(ウ) 大型商業施設にパトネット広報チラシを設置した。
	(エ) 大型商業施設を利用する来訪者に対する広報活動を実施した。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
秋の安全なまちづくり県民運動期間中に、特殊詐欺被害防止広報を実施するとともに特殊詐欺被害防止に役立つことを広報してパトネットあいちの登録を依頼した。	
(オ) 公共交通機関各駅にも広報チラシを設置した。	
(カ) コミュニティセンターや商工会議所のインフォメーションコーナーで広報チラシを貼る、出入口や受付にチラシを置く等を行い、来訪者に対する広報を実施した。	
(キ) 犬山署全交番、駐在所で実施された交番連絡協議会で参加された各委員に対し、パトネットあいちの登録を依頼した。	
イ 答申事項イについて	
(ア) 犬山署が参加したイベントで、来訪者に対して「パトネットあいちの周知」や「パトネットあいちの登録方法の説明」を行った。	
(イ) 管内自治体にも広報チラシを置かせてもらい来訪者に対する広報をしてもらえるよう依頼した。	
(ウ) 中学校においてパトネットあいちの周知を依頼した。	
「パトネットあいち」は、警察が犯罪情報等を認知してから、早ければ、数十分後には情報発信できるので、教職員に登録してもらい、いち早く事件事象などの情報を認知してもらうことで、生徒達の安全に役立ててもらおう。	
(I) 各老人会に対し、特殊詐欺など防犯講話や交通安全講話を実施するとともに、パトネット広報チラシを配布しパトネットあいちの登録を呼び掛けた。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(オ) 死亡事故発生緊急対策時に、管内スーパーマーケットにおいて、交通事故防止啓発活動の際、パトネットあいちの二次元コードを貼付した反射材を配布し、パトネットあいち登録を呼びかけた。	
ウ 答申事項ウについて	
今年2件の交通死亡事故が発生した国道41号において看板を設置し、スピードを出すドライバーに対する注意喚起をするとともに、パトネットあいちの発信を行った。	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
自転車盗を抑止するための方策	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
犬山警察署管内においては、昨年に比べ自転車盗が多発している。	
本年6月以降は毎月10件以上発生し、11月末現在では120件、昨年同期比30件増加。	
盗まれた120件の自転車盗については無施錠率が80%におよび、昨年同期の無施錠率75.5%を上回っている。	
自転車盗の被害防止について住民の方々への啓発手段、方法や効果的な対策等、様々な意見を伺うために諮問事項とした。	
6 協議	
委員	・ 発生地域で赤色を点灯してパトロールを強化したらどうか。
	・ イベント会場での犯罪抑止啓発チラシの配布をしたらどうか。
委員	・ 防犯性の高い補助錠を使用する二重ロックを推奨することを
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
広報したらどうか。	
・ 自転車ラックなどの固形物に係留する方法を周知したらどうか。	
委員	・ 自転車防犯登録の啓発をしたらどうか。
・ 自転車盗多発場所で看板を設置したらどうか。	
・ 「盗難防止検証中」と書かれたタグを取り付けたらどうか。	
委員	・ 窃盗罪が成立する、10年以下の懲役であることを明確に知らせる ポスターを作成したらどうか。
・ 無施錠自転車に対して施錠促進ではなくダイレクトに盗難に遭う ことを警告した方が良いと思う。	
委員	・ 中学生や高校生に施錠の大切さを呼びかける。
・ 被害届を受理した際にしっかりと施錠を呼びかける。	
委員	・ 「防犯カメラの設置中」ステッカーの配布やダミーカメラの設置 も効果があると思う。
委員	・ 日本語だけではなく外国語のチラシの作成も必要だと思う。
・ 防犯カメラが駐輪場から見て目立つ場所への設置が必要だと思う。	
委員	・ 施錠しない人の心理を知り、施錠しない理由の調査を実施し、ど のような危機意識を植え付けていくか考えることが必要だと思う。
7 答申	
(1) 自転車の施錠を意識づける啓発活動の実施	
(2) 犯行を思い止まらせる啓発活動の実施	
8 その他	
次回の開催は、令和6年2月下旬とする。	
記録者	警務係長